

適正施設ガイドライン

【ルリカケス *Garrulus lidthi*】

2021年3月

公益社団法人日本動物園水族館協会

1 飼育環境

1-1 温度及び換気

本種はこれまでに関東以北での飼育記録がないが、関東以南であれば屋外飼育は可能である。上野動物園など都内の年間気温であれば、年間を通して屋外での飼育も可能である。ただし、最低気温が氷点下以下に下がるような飼育環境では、遠赤外線などのホットスポットを設けることが望ましい。

室内飼育施設のみで飼育する場合は、春秋などの温暖な気候時に、太陽光、換気可能な窓の設置が望ましい。室内飼育の場合は、空調などを用いて温度条件を10～30℃で管理する。

1-2 湿度

ルリカケスの生息地は年間を通して降水量が多く多湿な環境ではあるが、ルリカケスはアスペルギルス (*Aspergillus*) 属真菌に対する感受性が高いため、室内飼育の場合は空調や換気などで除湿し、環境中のカビの発生を抑える必要がある。室内飼育の場合の目標湿度は60%以下が好ましい。

1-3 音、振動

生息域内では一般住宅の屋根裏や、ペンションの軒下などでも繁殖例があるように、一定の連続的な音などにはある程度ならば順応する。しかし、突発的な音や振動には敏感に反応し衝突などの恐れのあるため、大きな音や振動は極力さけるべきである。工事など事前に音や振動を伴う場合は、遮音性カーテンなどで防音などの対応が必要である。

1-4 飼育面積及び容積

飼育施設の大きさは、基本的に中型以上の禽舎であれば飼育可能である。ペア飼育の場合、幅5m×奥行き10m×高さ3m程度の禽舎で繁殖例がある。これ以下の面積でも繁殖例はあるが、営巣には高い場所を好むので高さは必要である。治療などを目的に狭い場所での飼育が必要な場合、短期間ならば、中型鳥類用の鳥カゴ(サイズ400×600×400mm)でも管理することは可能である。



図1 上野動物園の屋外飼育施設



図2 上野動物園の屋内飼育施設



図3 上野動物園の展示場内部



図4 平川動物公園の屋外飼育施設

1-5 施設の構造、設備

これまでに、屋外飼育施設にてアオダイショウによる食害事故が発生している。ヘビなどの侵入を防止するために、屋内外施設の側面や天井部には 5mm×5mm のステンレスメッシュを用いることが望ましい。天井部には一部雨除け用の屋根を設ける。屋根を壁面から設置できれば雨風を同時に防ぐことができる。

本種は貯食、採食行動などで地面を掘る行動を頻繁に行なう。このため屋外施設の床面は掘り起こしやすい砂や土、砂利などを使用し、屋内施設で床面がコンクリートの場合でも一部には土壌部を設ける。

止まり木の太さは本種が掴まったときに、指が3分の2程度かかる太さで、放飼場内の高低差のある場所に設置する。カシやスジダイなどの常緑樹を放飼場に植樹すれば、止まり木としても活用出来る。

放飼場内の水場は、飲水場および水浴び場として利用できるようにする。本種はあまり深い水深の水場を好まない。水場はすり鉢状とし、最大 10cm 前後の深さから徐々に浅くなるような構造が良い。本種は季節を問わず水場で水浴びを頻繁に行なうため、給水方式は溜め水ではなくオーバーフロー方式が望ましい。

参考文献

- Fridolfsson, A. K. and H. Ellegreen (1999): A Simple and Universal Method Molecular Sexing of Mon-ratite Birds. *J. Avian Biology* 30, 116-121
- Griffiths, R., M. Double, K. C. Y. Orr and R. J. G. Dawson (1998): A DNA Test to Sex most Birds. *Molecular Ecology* 7, 1071-1075.
- 石田健 (1997): ルリカケス. In 樋口広芳(編), 日本動物大百科 4 鳥類 II, 167-168, 平凡社, 東京.
- 石田健 (2010): ルリカケス. *Bird Research News*, 7(4), 4-5.
- 石田健(2014): ルリカケスを守るために①, 東洋の宝石 ルリカケスという魅惑の鳥 奄美だけにいる貴重な鳥の特徴. *どうぶつと動物園*, 66(4), 14-19.
- Ishida K, Murata K, Nisihiumi I, Takahashi Y and Takashi M (2015): Endemic Amami Jay, invasive Small Indian Mongoose, and other alien organisms: a new century investigation of island aliens towards improved ecosystem management. *J. Ornithol* 156 (Suppl 1), S209-S216.
- 神門英夫, 猪俣康真, 後籐悟紀, 石川智洋, 夏坂松久(1998): ルリカケスの人工育雛 飼育と繁殖の経過. *どうぶつと動物園*, 50(11), 12-16.
- 高橋幸裕(2014) : ルリカケスを守るために②, ルリカケスの生息域外保全. *どうぶつと動物園*, 66(4), 20-24.
- 谷 智子, 石田 健, 高美喜男, 森 貴久(2017): ルリカケスの早春繁殖における餌資源の考察 - ヒナの糞分析および生息環境の動物多様性からの知見 -. *Bird Research* 13, A1-A13.